

団体名

ハピサンBOOKS

団体概要

ハピサンBOOKSは、2020年度より活動している本と一緒にコミュニティを作ることを目的とした団体です。本を貸したり借りたり、そこで話したり、街全体に本を介したコミュニティが生まれるよう活動しています。

活動名：本を介したコミュニティづくり

1

活動の目的

本は一人でも楽しめるもの。

でも、その場所に違う人がいれば、共感したり、お互いの感想を話し合い、それぞれの価値観を認めあったり。

人と人との交流にも本は大きな役割を果たしてくれます。

そんな本を介したあたたかいコミュニティを地域で作ることを目的としてハピサンBOOKSは活動しています。



2

活動の内容



昨年度に引き続き、本箱作りワークショップと、コミュニティスペース「ハピサンハウス」での図書の貸し出しや読み聞かせなどを行いました。

それに加え、今年度は「コミュニティを盛り上げるようなフリーペーパーを作ろう！」と地元呼続に特化したフリーペーパー「よみすぎよびつぎ」を発行、配布しました。





また、「本を介したコミュニティ作り仲間」として名東区の「ニシヤマイバショラボ」さんなどとの交流をすることができ、呼続だけでなく、名古屋市内で活動をされている様々な方・団体さんとの交流を図ることができました。

3

活動の振り返り

昨年度に引き続き、コロナ禍で思うように活動ができないこともありましたが、

「ホン×マチ」への参加や他団体さんとの交流など、昨年度より広く活動の幅を広げられたと思います。



本箱作りワークショップにもたくさんの方にご参加いただき、この活動を知ってもらえるきっかけができたかと思います。

一方で、リピーターさんやよく知った方の参加が増え、地元の方に対しては、少し周知が行き届かなかったかなという反省もあります。

また、拠点にしていた「ハピサンハウス」での活動ができなくなり、活動拠点を「街と珈琲」に移すことにしました。

子育て支援の活動拠点であったハピサンハウスでの活動ができなくなるのは痛手ではありますが、街と珈琲で引き続き、図書の貸し出しなどの活動を続けて、まちづくりの拠点として成長していきたいです。

